



平成30年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月10日

上場会社名 株式会社アイケイ
 コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 飯田 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 (氏名) 高橋 伸宜
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 TEL 052-856-3101

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第2四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	9,272	31.1	518	145.4	524	150.5	371	142.9
29年5月期第2四半期	7,071	5.0	211	326.7	209	377.1	153	

(注) 包括利益 30年5月期第2四半期 373百万円 (142.7%) 29年5月期第2四半期 153百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	99.82	
29年5月期第2四半期	41.10	

(注) 当社は、平成29年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	6,154		2,216			36.0
29年5月期	5,207		1,898			36.5

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 2,216百万円 29年5月期 1,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		0.00		30.00	30.00
30年5月期		0.00			
30年5月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成30年5月期(予想)の期末配当金については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。平成29年5月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。従いまして、平成30年5月期(予想)の配当金は、実質的には普通株式1株につき10円の増配となります。

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,860	23.5	1,000	79.5	1,010	82.1	690	62.1	185.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該株式分割が期首に行われたものとして計算してあります。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年5月期2Q	3,904,000 株	29年5月期	3,904,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年5月期2Q	177,800 株	29年5月期	177,800 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年5月期2Q	3,726,200 株	29年5月期2Q	3,726,200 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成29年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測数値および将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、経営環境の変化等により、本資料の予測数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は堅調に推移し、雇用環境においても改善傾向のまま推移いたしました。しかしながら、個人消費におきましては、景気の回復を実感するまでにはいたらず、力強さに欠けたまま推移いたしました。また、米国、欧州における経済政策動向に不透明感があり、先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンの多さ」と定義づけ「ファンづくり」を経営最大のテーマとして経営理念の実践を重ねております。

当第2四半期連結累計期間におきまして、メーカーベンダー事業では、WEB・TVショッピングルート（B to C）及び海外・インバウンドルートが堅調に推移いたしました。また、自社開発化粧品であります「LB」をアセアン地域で拡販することを目的に香港に完全子会社であります「I.K Trading Company Limited」に加え、孫会社として中国本土でのLB化粧品の拡販を目的に上海に艾瑞碧(上海)化粧品有限公司を設立いたしました。商品面では、メーカーベンダー事業における成長の鍵となるキーワードを「化粧品・海外・EC」であるとの認識のもと、引き続き自社商品（プライベートブランド商品）の開発と販売に注力してまいりました。

SKINFOOD事業では、個店強化を目的としまして、販売スタッフの名前を覚えて頂けるようなきめ細かな接客対応により顧客化を図ってまいりました。当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店20店舗（前年同期末20店舗）、FC店3店舗（前年同期末2店舗）の23店舗（前年同期末22店舗）となっております。

ITソリューション事業では、本格的に販売を開始いたしましたビジネス版LINE「LINE Works」のほか、既存商品のチャットシステム「M-Talk」（エム トーク）及び通話録音システム「Voistore」の販売に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,272百万円（前年同四半期比31.1%増）、営業利益518百万円（前年同四半期比145.4%増）、経常利益524百万円（前年同四半期比150.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益371百万円（前年同四半期比142.9%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

<メーカーベンダー事業>

売上高は8,705百万円（前年同四半期比34.0%増）となり、営業利益は404百万円（前年同四半期比148.6%増）となりました。

<SKINFOOD事業>

売上高は477百万円（前年同四半期比3.1%増）となり、営業利益は120百万円（前年同四半期比147.4%増）となりました。

<ITソリューション事業>

売上高は88百万円（前年同四半期比19.5%減）となり、営業損失は9百万円（前年同四半期は2百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ910百万円増加しました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が311百万円、「受取手形及び売掛金」が242百万円、「商品及び製品」が348百万円、それぞれ増加したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ36百万円増加しました。

主な固定資産の変動は、「無形固定資産」が24百万円、「投資その他の資産」が8百万円、それぞれ増加したことによります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は6,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ946百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ664百万円増加しました。主な流動負債の変動は、「買掛金」が498百万円、「未払法人税等」が65百万円、「未払金」が40百万円、それぞれ増加したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ35百万円減少しました。

主な固定負債の変動は、「長期借入金」が44百万円減少したことによります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は3,938百万円となり、前連結会計年度末に比べ628百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ317百万円増加しました。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が316百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月18日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に、変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	126,342	437,490
受取手形及び売掛金	2,568,477	2,811,282
有価証券	127,306	129,669
商品及び製品	1,373,104	1,721,448
原材料及び貯蔵品	8,587	12,973
その他	229,004	230,336
貸倒引当金	△2,669	△2,464
流動資産合計	4,430,154	5,340,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	167,791	166,074
土地	80,216	80,216
その他（純額）	39,719	44,954
有形固定資産合計	287,728	291,245
無形固定資産		
のれん	29,753	23,141
その他	82,657	113,423
無形固定資産合計	112,410	136,565
投資その他の資産		
その他	388,699	397,182
貸倒引当金	△11,259	△11,205
投資その他の資産合計	377,439	385,976
固定資産合計	777,578	813,787
資産合計	5,207,732	6,154,525
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,322,899	1,821,606
短期借入金	180,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	406,962	420,057
未払金	505,749	546,278
未払法人税等	83,735	149,208
賞与引当金	42,805	58,460
役員賞与引当金	—	26,330
返品調整引当金	12,384	10,170
その他	170,090	156,599
流動負債合計	2,724,626	3,388,710
固定負債		
長期借入金	348,931	304,874
退職給付に係る負債	87,347	92,583
役員退職慰労引当金	134,210	138,455
その他	14,020	13,471
固定負債合計	584,509	549,384
負債合計	3,309,136	3,938,095

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	365,001	365,001
利益剰余金	1,168,203	1,484,271
自己株式	△38,938	△38,938
株主資本合計	1,896,016	2,212,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,580	4,346
その他の包括利益累計額合計	2,580	4,346
純資産合計	1,898,596	2,216,430
負債純資産合計	5,207,732	6,154,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	7,071,451	9,272,078
売上原価	4,199,554	5,286,557
売上総利益	2,871,897	3,985,520
販売費及び一般管理費	2,660,474	3,466,652
営業利益	211,422	518,867
営業外収益		
受取利息	496	882
受取手数料	1,934	3,027
為替差益	—	1,784
その他	1,976	2,521
営業外収益合計	4,406	8,215
営業外費用		
支払利息	3,609	2,304
為替差損	2,759	—
その他	20	127
営業外費用合計	6,388	2,431
経常利益	209,441	524,651
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,492
特別利益合計	—	1,492
特別損失		
固定資産除却損	—	4,783
減損損失	739	6,662
特別損失合計	739	11,445
税金等調整前四半期純利益	208,702	514,698
法人税等	55,558	142,737
四半期純利益	153,143	371,961
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,143	371,961

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)
四半期純利益	153,143	371,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	836	1,766
その他の包括利益合計	836	1,766
四半期包括利益	153,979	373,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,979	373,727

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	208,702	514,698
減価償却費	33,817	39,803
減損損失	739	6,662
のれん償却額	6,611	6,611
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△351	△259
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	15,654
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,760	26,330
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,126	5,236
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	354	4,245
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	3,550	△2,214
受取利息及び受取配当金	△924	△1,821
支払利息	3,609	2,304
為替差損益 (△は益)	9,595	△1,855
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△1,492
固定資産除却損	—	4,783
売上債権の増減額 (△は増加)	△132,514	△242,804
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△121,613	△352,730
仕入債務の増減額 (△は減少)	450,389	498,707
未収消費税等の増減額 (△は増加)	5,972	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,824	△10,518
未払金の増減額 (△は減少)	27,242	57,109
その他の資産の増減額 (△は増加)	△8,136	△2,179
その他の負債の増減額 (△は減少)	△8,560	△7,280
小計	516,195	558,989
利息及び配当金の受取額	919	1,735
利息の支払額	△3,507	△2,280
法人税等の支払額	△71,043	△73,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	442,564	484,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,900	△50,627
無形固定資産の取得による支出	△13,768	△51,485
投資有価証券の取得による支出	△54,058	—
関係会社株式の取得による支出	△20,000	△14,730
関係会社株式の売却による収入	—	1,500
貸付金の回収による収入	4,712	13,586
差入保証金の差入による支出	△2,000	△5,051
差入保証金の回収による収入	11,583	1,290
その他	△948	△315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,379	△105,834

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△340,000	20,000
長期借入れによる収入	250,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△205,764	△230,962
配当金の支払額	△37,293	△55,868
その他	△549	△549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333,606	△67,380
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,595	1,855
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,018	313,511
現金及び現金同等物の期首残高	235,948	253,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	230,930	567,160

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成29年7月11日開催の取締役会決議に基づき、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図るため、次の株式分割を行っております。

1. 分割の割合及び時期

平成29年12月1日付をもって、平成29年11月30日の株主名簿に記録された株主の所有株式数を、1株につき2株の割合をもって分割する。

2. 分割により増加する株式数 普通株式1,952,000株

3. 1株当たり情報に及ぼす影響は、「サマリー情報」に反映されております。